

事業ID: 2019526038

事業名: 海ごみ問題の中間支援体制作りと海ごみアップサイクルの試み

団体名: アノミアーナ

## 1) オリジナルイベント開催概要

イベントタイトル	ミニ講座「みんなで考えよう、海ごみの減らし方」とビーチクリーン
イベントの目的・ねらい	和田浜では月1回の定例ビーチクリーンが行われているが、「海や海ごみについてもっと詳しく知りたい」という要望があり、協力して行くことになった。清掃を行うだけでなく、海ごみの発生源や処分状況を知ること、各自が日常生活を見直すきっかけにすることがねらいである。
日程	2020年9月27日
開催場所	ブルーフラッグアカデミー(高浜町和田)
参加人数	講座 15人 ビーチクリーン 約30人
主催	ブルーフラッグアカデミー、Sea star
共催	アノミアーナ
協力	
告知方法	3団体のWebサイトやSNS

## 2) イベント内容

※添付いただく写真画像は2000×2000ピクセル以上ですとキレイな表示となります

イベント1 内容	<p>海ごみミニ講座</p> <p>海ごみ問題の概要と若狭湾の海ごみ漂着状況・処分状況をpptで説明。その後、各自1つずつ気になる海ごみを手に取ってもらい、それがどこからどういう過程を経て和田浜にやってきたのか想像し、グループでシェアしてもらった。また、回収された後、どう処理されて行くのか、あるいは、拾われなかったらその後どうなるのか、考えて発表してもらった。</p>
-------------	---



事業ID: 2019526038

事業名: 海ごみ問題の中間支援体制作りと海ごみアップサイクルの試み

団体名: アノミアーナ

## イベント2 内容

### ビーチクリーン

講座後、地元の人やサーファーなどが加わり、和田浜のビーチクリーンを行った。



## 参加者の声

- ・これまでビーチクリーンはしていたが、海ごみに関して深く考えたことがなかったので、とても勉強になった。
- ・このままだと2050年には魚よりプラスチックの方が多くなると聞いて、ショックを受けた。
- ・海ごみの物語を考えるのがとても面白かった。話を聞くだけでなく、自分の頭で考える良いプログラムだ。
- ・海ごみを再生することができる聞き、現物を見せてもらい、想像したこともなかったのが驚いた。
- ・海ごみからいろんなものを作りたいと思った。
- ・これまで単純に気持ちがいいのでビーチクリーンに来ていたが、いろいろ聞くと複雑で、どうしたらいいのかわからなくなった。

事業ID: 2019526038

事業名: 海ごみ問題の中間支援体制作りと海ごみアップサイクルの試み

団体名: アノミアーナ

## 1) オリジナルイベント開催概要

イベントタイトル	秋のイベント「若狭の海を楽しもう」の中のサブイベント ・海のプラスチックをアクセにカエル!! ・ビーチクリーン&マイクロプラスチックマッドネス上映会
イベントの目的・ねらい	秋の海に親しむとともに、海ごみについて学び、自分たちの生活を見直すきっかけとしてもらう。 また、海ごみが資源として再利用できることを知ってもらう。
日程	2020年10月10日11日
開催場所	福井県海浜自然センター
参加人数	40人
主催	福井県海浜自然センター
共催	アノミアーナ
協力	カエルデザイン
告知方法	チラシ配布 海浜自然センターWebサイト アノミアーナ Webサイト SNS

## 2) イベント内容

※添付いただく写真画像は2000×2000ピクセル以上ですとキレイな表示となります

イベント1 内容	ビーチクリーン 海浜自然センターの前浜でビーチクリーンを行なった。 ビーチクリーンの前に屋内で検温を行い、危険物などのレクチャーを行なった。 午後からアクセサリー作りの講座に参加する方は、材料となるプラスチック片も拾ってもらった。
-------------	--



事業ID:2019526038

事業名:海ごみ問題の中間支援体制作りと海ごみアップサイクルの試み

団体名:アノミアーナ

イベント2  
内容

アクセサリー作り

カエルデザインさんの指導の下

1. ビーチクリーン時に集めたプラスチック片を洗浄、カット。
  2. 混ぜ合わせてアイロンで熱を加えて板にする。
  3. アクセサリーの形に切り抜き、レジンコーティングし金具を付ける。
- という工程を経て、オリジナルアクセサリーを作ってもらった。



イベント3  
内容

海ごみ学習会

環境省の学習用資料を使って、海ごみ問題全般を学んでもらうとともに、地域の深刻な海ごみの状況も知ってもらった。

また、それぞれが日常生活の中でできることも考えてもらった。

大学生にはマイクロプラスチック調査について発表してもらった。

5人程度の少人数講座を計6回開催した。



事業ID: 2019526038

事業名: 海ごみ問題の中間支援体制作りと海ごみアップサイクルの試み

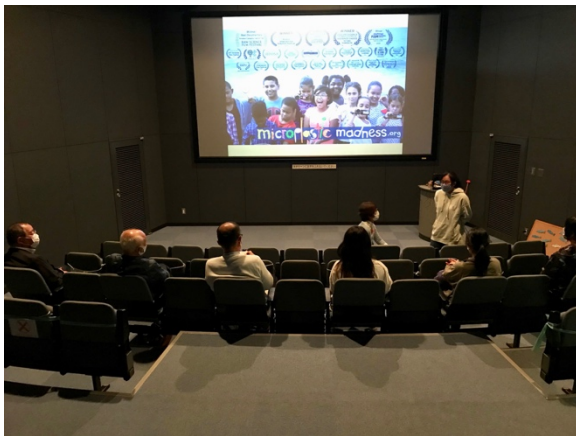
団体名: アノミアーナ

#### イベント4 内容

映画「Microplastic Madness」上映会

ニューヨークの小学生が海洋プラに取り組む姿を追ったドキュメンタリー映画。アノミアーナが仲介し、若狭高校が字幕翻訳に協力したことで地元では話題になっている映画。

市議員や公民館長、観光協会長、プラスチックメーカーの社員、大学生など様々な方が鑑賞に訪れ、上映後に情報交換会も行った。



#### 参加者の声

- ・ビーチクリーンに参加しましたが、結構たくさんのゴミがあって全く拾いきれませんでした。スタッフから「これは少ない方。これからもっと増えてくる」と聞いて本当に大変な問題なんだと思いました。
- ・海ごみが新しいものになる、という発想がなかったので、驚きました。実際に自分でアクセサリーを作ってみて、予想したよりずっとかわいいものができてうれしいです。また作ってみたいです。
- ・映画はぐんぐん引き込まれました。プラスチックを廃止することはできないにしても、削減する努力をしていきたいです。
- ・アメリカの小学生のパワーはすごいです。とても勉強になりました。地域でも上映会をして行きたい。
- ・いろんな大人の方と交流できて有意義でした。大学でも何かやって行きたいと思います。

事業ID: 2019526038

事業名: 海ごみ問題の中間支援体制作りと海ごみアップサイクルの試み

団体名: アノミアーナ

## 1) オリジナルイベント開催概要

イベントタイトル	オーシャングラス プロジェクト in 敦賀
イベントの目的・ねらい	ビーチクリーンで集めた海ごみペットボトルからオリジナルサングラスを作る日本で初めてのプロジェクトの 敦賀版。若狭湾の各地で海辺の活動団体や学校等と一緒にビーチクリーンを行い、参加者とともに原料となるペットボトルを集めていく。 魅力的なアップサイクルグッズを提示することで、これまで関心のなかった層にもアプローチして、活動の輪が広がることを目的としている。
日程	2020年12月13日（日）10時～12時
開催場所	敦賀市田結集落センター・田結海岸
参加人数	20人
主催	Team Clean Blue ・ アノミアーナ
共催	
協力	
告知方法	環境系イベント等でチラシを配布 SNSで告知
イベント1内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主催者あいさつ</li> <li>・ 参加者自己紹介</li> <li>・ 敦賀湾の海ごみ漂着状況と敦賀市の回収・処分状況のレクチャー</li> <li>・ アノミアーナで行なっている再資源化の取り組みとオーシャングラスプロジェクトの説明</li> <li>・ ビーチクリーン時の注意事項</li> </ul>

## 2) イベント内容

※添付いただく写真画像は2000×2000ピクセル以上ですとキレイな表示となります



事業ID:2019526038

事業名:海ごみ問題の中間支援体制作りと海ごみアップサイクルの試み

団体名:アノミアーナ

イベント2  
内容

田結海岸に移動し、ビーチクリーンを行った。  
ペットボトルは分けて集め、きれいなものと汚れているものに分けた。  
途中で雨が激しくなったので30分程度で切り上げ、海ごみ漂着の激しい場所を見学してもらった。



イベント3  
内容

集会所に戻り、ペットボトル約100本のラベルとキャップを取って洗浄した。  
乾燥してつぶした後に、サングラスの原料として内田プラスチックに持ち込む予定。



事業ID:2019526038  
 事業名:海ごみ問題の中間支援体制作りと海ごみアップサイクルの試み  
 団体名:アノミアーナ

3)その他

<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• みんなで参加したら楽しい</li> <li>• まだまだ知らないこともありました。きりがいい様に思いますが続けていけるといいと思います</li> <li>• 地元でありながら、ゴミの多さにビックリしました。お蔭様で綺麗になり、ありがとうございました</li> <li>• 福井県全体、日本海全域に広がっていきと思います</li> <li>• どんどん大きなムーブメントになることを願います</li> <li>• 雨の中お疲れさまでした。ありがとうございました。</li> </ul>
<p>メディア掲出</p>	<p>福井新聞 敦賀ケーブルテレビ 福井テレビ</p>
<p>その他特記事項</p>	<p>福井新聞 2020年12月15日朝刊に掲載              敦賀ケーブルテレビ 2020年12月14日に放送 インターネットでも視聴可              福井テレビ 海と日本プロジェクト Webサイトに掲載予定</p>



事業ID: 2019526038

事業名: 海ごみ問題の中間支援体制作りと海ごみアップサイクルの試み

団体名: アノミアーナ

## 1) オリジナルイベント開催概要

イベントタイトル	オーシャングラスプロジェクト in 加斗
イベントの目的・ねらい	ビーチクリーンで集めた海ごみペットボトルからオリジナルサングラスを作る日本で初めてのプロジェクトの 小浜市加斗地区版。魅力的なアップサイクルグッズを提示することで、これまで関心のなかった層にもアプローチして、活動の輪が広がることを目的としている。 加斗地区においては、以前賑わった海水浴場が閉鎖され、人々の関心が海から遠のいている。地域の自然資源にもう一度関心を取り戻し、地域の未来を考えることを目的に、夢づくり協議会や公民館が取り組んでいる活動の一環として、今回のイベントを企画した。
日程	2021年2月7日（日）10時～12時15分
開催場所	下加斗松原海岸、小浜市加斗公民館
参加人数	12名
主催	加斗夢づくり協議会 アノミアーナ
共催	加斗公民館
告知方法	公民館だより SNS

## 2) イベント内容

※添付いただく写真画像は2000×2000ピクセル以上ですとキレイな表示となります

イベント1 内容	下加斗海岸に集合し、ビーチクリーンを行った。 ペットボトルと発泡スチロール片が多く、ペットボトル約200本を回収した。
-------------	--



事業ID:2019526038

事業名:海ごみ問題の中間支援体制作りと海ごみアップサイクルの試み

団体名:アノミアーナ

イベント2  
内容

公民館に移動し、原料となるペットボトルを選別し、ラベル、フタ、フタ下部分を取り除いた後、半分に切り、洗浄した。



イベント3  
内容

海ごみに関するレクチャーと意見交換を行った。



事業ID: 2019526038

事業名: 海ごみ問題の中間支援体制作りと海ごみアップサイクルの試み

団体名: アノミアーナ

## 3) その他

参加者の声	<p>&lt;加斗地区の方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・海の近くに住んでいるが、冬の海に出掛けることはほとんどなかった。出掛けてみると、意外と気持ちよかった。</li><li>・高台の道路から海岸の海ごみを見ることはあったが、実際に海岸に降りてみると、実態がよくわかった。</li><li>・清掃活動だけでなく、そこから何かを作り出す、という活動は、地区としても未来を感じる。今日は参加者が少なかったが、これからもっと広げていきたい。</li></ul> <p>&lt;地区外からの参加者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・パッと見た時は、大きなゴミがほとんどなく、ゴミが少ない海岸だと思った。しかし、拾い始めてみると発泡スチロールの欠けらや粒が多くてびっくりした。</li><li>・小さなゴミまで拾えて充実感があつた。</li><li>・有志ではなく、地区としてこういう活動に取り組む、というのは素晴らしい。</li></ul>
配布資料 (資料データがある場合、レポートに添付して提出してください。)	
メディア掲出	福井県感染拡大警報が継続されたため、マスコミの取材はご遠慮いただいた。地元ケーブルテレビ「チャンネル0」と市政広報「広報おばま」のみ取材
その他特記事項	<p>実施した事業が掲載されている媒体のコピーをご記入ください。 こちらの枠内に記載できないものは、別途添付してください。</p> <p>&lt;例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・助成事業で開催したイベントが取り上げられた新聞記事のコピー</li><li>・テレビで放映された日時と番組名を記載したメモ</li><li>・事業を紹介している団体の広報誌</li></ul>

事業ID: 2019526038

事業名: 海ごみ問題の中間支援体制作りと海ごみアップサイクルの試み

団体名: アノミアーナ

## 1) オリジナルイベント開催概要

イベントタイトル	アップサイクルキックオフイベント
イベントの目的・ねらい	今年度事業の集大成として、若狭の海ごみで作られたアップサイクル品の紹介を行い、試験販売を行う。合わせて、アノミアーナの一年間の活動報告を行うほか、アップサイクル品メーカーの方々から商品開発にかけられた想いや開発秘話、若狭との連携などについて伺い、地域の方々の関心やモチベーションの向上に繋げる
日程	2021年3月7日（日）10時00分～15時00分
開催場所	小浜市 まちの駅(小浜市小浜白髭111-1)
参加人数	約100人
主催	アノミアーナ
共催	
協力	まちの駅 TEtoKI
告知方法	チラシの配布 プレスリリース SNSでの発信

## 2) イベント内容

※添付いただく写真画像は2000×2000ピクセル以上ですとキレイな表示となります

イベント1 内容	アップサイクル品の試験販売 若狭の海ごみから作られたアクセサリーやインテリア小物などの試験販売を行った。 合わせて、若狭の海ごみの現状や海ごみの原因、解決の方向性を示す展示を行い、大学生や高校生が来場者に解説を行った。
-------------	---



事業ID: 2019526038

事業名: 海ごみ問題の中間支援体制作りと海ごみアップサイクルの試み

団体名: アノミアーナ

<p><b>イベント2 内容</b></p>	<p>トークイベントの開催                  10:30 アノミアーナ 1年の活動報告                  11:00 各メーカーさんとWeb版トークイベント                  &lt;パネラー&gt; カエルデザイン with リハス 高柳豊氏                                    テクノラボ 林光邦氏 田所沙弓氏                                    ウチダプラスチック 内田栄時氏                                    司会 アノミアーナ 西野ひかる                  &lt;内容&gt; アップサイクル品の紹介と開発に到った経緯、開発時の苦労、若狭の人々に向けたメッセージなど                  &lt;参加者&gt; 会場 のべ約30人 Web参加10人</p>
----------------------------	---



<p><b>参加者の声</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トークイベントでメーカーさんの熱い想いを聞かせていただき、もっともっとがんばってビーチクリーンをしようと思った。</li> <li>・商品を見ただけではわからないが、話を聞いて、すごい時間と技術の結晶だということがわかり、大切にしようと思った。</li> <li>・ゴミがこんなきれいなものに生まれ変わるとは、思ってもみなかった。</li> <li>・大学生としてこの地域で暮らすのは3年間だけだが、コロナで他の地域に行けなくなった分、この地域での地域貢献活動をしようと思った。</li> <li>・高校でマイクロプラスチックの研究をしているが、この問題はもっともっと広い問題で、いろんな形で取り組んでいる人がいることがわかった。</li> <li>・他のメーカーさんのことも知ることができ、それぞれに得意分野があるので、今後、連携していけるといいと思った。(パネラー)</li> </ul>
<p><b>配布資料</b></p>	<p>アップサイクルリーフレット添付</p>
<p><b>メディア掲出</b></p>	<p>福井新聞 3月8日朝刊                  ケーブルテレビ チャンネルO 3月9日放送                  福井テレビ 海と日本</p>